

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	114	学校名	仙台市立長町南小学校	校長名	齋藤 敦子
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 円田での古代米づくり～生物や植物の1年を身近なものに～



2 取組の紹介

本校は、学校のエントランスに円形の田んぼがあります。今年も5月に、田植えが行われました。担当は飼育栽培委員会の5、6年生です。この田んぼは、全校の児童が1年を通して様々な生き物や植物の成長を目の前で観察体験できる学習の場として活用されています。

また、学区内にある「地底の森ミュージアム」では、古代の人々がこの地で稲作を行っていた歴史を学ぶことができますが、古代の遺跡が身近に在りながら、現在は街が整備され、マンションや大型ショッピングモールもある開けた地域で、子供たちの日常に自然が少ない環境にもなっています。

歴史ある地域の特性と合わせて、生き物や植物を身近に感じられる環境を提供しようこの円田が活用されています。



田んぼに入り稲を植えます。転ばぬように・・・



暑い日が続きました。今年のできはどうか・・・



春は、田んぼに咲くレンゲの花で低学年が草花遊びをしたり、暑くなると水辺に集まるアメンボやメダカと戯れたり、稲穂がすすく育つ中、生き物たちの観察も楽しめる場になっています。

秋の収穫の後には、しめ縄作りなどの活動にも利用しています。収穫できた古代米は、卒業生へのお祝いに配り、学校の思い出のひとつにしてもらっています。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

目の前に自分たちの水田があることで、稲作やそこに集まる生き物などに興味を持つ児童が増えました。また、米作りについて、世話の仕方を地域の方から支援をいただくことで、地域の人々への感謝の気持ちを育み、自分の地域へ愛着を持つことを学ぶ経験ができました。